

1 学年通信

第4号

令和8年6月25日

文責：佐藤健太
(1学年主任)

これまでの生活から

入学からこれまでの生活の様子を見て、気になることをいくつか情報共有しておこうと思います。今後の生活を見直していく視点にしてください。

<授業の遅刻、中抜け>

自分で時計を見てチャイムの鳴り始めとともに授業を開始できる状態になっていますか。**チャイムが鳴り始めてから座り始めるのでは遅い**ですよ。授業開始から逆算して、教材等の準備もしておく必要があります。10分休みはスマホゲームやSNSに興じるためにある時間ではありません。もちろん、それらをやってはいけないということではありませんが、優先順位を意識して行動してください。

また、**授業中にトイレに行く人が多すぎませんか**。行くなと言っているわけではありませんので誤解しないでください。やむを得ないときもあると思います。無理をする必要はありません。しかし、あまりにも授業中の離席が軽い人があるのではないのでしょうか。10分休みに済ませられるものは済ませるのが一番、状況によって次の休憩まで我慢をする選択もとりうるでしょう。まさか、よくトイレで抜ける人が、授業中にジュースをガバガバ飲んでるなんてことはないですよ。

<禁止されていないから全てOKではない。自己管理が求められている。>

まずはスマートフォンの使い方、3年前までは朝SHRから帰りまで一切の私的使用が禁止でした。授業への切り替えへの懸念やSNSでのトラブルなどを気にしてのことです。しかし、今はそれが緩和されています。当たり前の権利ではなく、**皆さんの自己管理能力への信頼の証**ですよ。しかし自身の行動を振り返ってどうでしょうか。**スマートフォンに支配されていませんか**。禁止ではないにせよ、必死にゲームをしているその10分を単語帳を覚える時間に変えたら1日の10分休みの回数をかけて1時間、週に5時間もの勉強時間を生み出せるんですよ。勉強はしないにしても、自分の時間の使い方をしっかり選んでください。

水分補給も同様です。基本的には休憩時間で済ませてください。授業中の飲水は暑さ対策や持病のある生徒など体調管理で必要な時のために許されているだけです。映画館ではないので、快適さのための飲料摂取ではありません。したがって、**たかだか5～10分程度のSHRや授業開始早々のタイミングで飲み物に口をつけている姿には違和感**を感じます（10分休みや昼休みの時間を上手に使ってください）。

<化粧、ピアス、巻髪などのおしゃれ>

本校では学校での学びに不要ということで化粧（色付きリップや余計な成分の入った日焼け止めなども含む）や髪を巻いてくることを認めていません。派手でなければ良いという考え方も一定程度理解はできますが、線引きと判断が難しくなるため、本校では一律このようなルール設定となっています。ピアスについても塞がるようにしてください、という指導になっています。

それぞれの個性は大切にしてください。しかし、**学校が尊重すべき個性は持って生まれたものや磨いていく内面の部分であって、物質的に補うことのできるもののことではありません**。

<威圧的・暴力的行動・言葉>

壁を殴る・蹴る、威圧的な態度で詰め寄る、汚い言葉を浴びせる……。 どんな理由があっても許されません。自身の意に沿わないことがあったとしても、 どれだけ相手が悪くても、正しく対処しなければそれは間違った行動です。

仮に友人同士でのじゃれ合いであったとしても同様です。危険な行いはやめてください。小中学生の頃とは比べ物にならないほど、力がついています。 じゃれ合いのつもりで行った行為が、誤って大事故を招くことも考えられます。相手は笑っていても我慢しているだけのこともあるかもしれません。そうならば、それはじゃれ合いではなく単なる暴力です。

言葉の場合も同様です。多くの場合そこまで大きな悪意なく発されている「死ねや」「キモい」などの言葉（平気で言っている人が多すぎる）も、ずいぶん鋭利に感じています。それらの言葉でしか自分の感情を伝えられないとしたら、それはあまりに幼すぎます。

信頼される人であってほしい

同じ行動だとしても、積み重ねた信用度によっては周囲の対応が変わることがあります。例えば、普段余裕を持って登校している生徒が「体調不良で・・・」と言って遅刻したとしましょう。「仕方ないかもしれないけれど、遅刻自体は気をつけてね」「少しでも遅れるなら事前に連絡してね」と声はかけるでしょうが、本当に体調を心配するでしょうし心から気の毒に思います。一方、普段からギリギリの行動を繰り返し、自己都合でよく遅刻しているような相手だとどうでしょうか。そこで「体調が・・・」と言われても、「本当か？」と疑ってしまいますよね。

その対応の違いが良いのか悪いのかは一概には言えませんが、社会においてよくある話です。あなた自身のこれまでの行動がその結果を生んでいるという意味で、これは差別とは言えないでしょう。信頼される人であるためには、普段の行動の積み重ねが大切である、ということを再認識してほしいと思います。

学校祭に向けた準備も近づいています。教師と生徒の信頼関係だけでなく、生徒同士の関係においても普段の行動の積み重ねが影響を与えるのではないのでしょうか。生活のルールを平気で破っているクラスメイトに対して、どのような思いを抱くのでしょうか。教師にはバレず叱られずに済んだ「ラッキー」な瞬間も自分にとって大きなマイナスになっているかもしれません。こういう想像力を持っていますか。度を超える身勝手は、結局のところ自分自身を生きづらくしてしまうと思いますよ。